

皆さんこんにちは！年が明けたと思ったら、慌しく3学期が始まり、もう1月も半ばを過ぎてしまいました。1月・2月・3月は「行く・逃げる・去る」とはよく言ったものですね。あっという間に終わる3学期ですが、英真学園軽音楽部はますます活発に活動しますよ！

さて、今回は1月13日に曾根崎警察コミュニティプラザで行われた「NESSO with コンサート～冬の高校生特集～」(通称：冬 NESSO)の様子をお届けします。そう、例の「昭和(1989年まで)の楽曲しか演奏してはいけない」というライブです！夏と冬の NESSO を楽しみにしていっしょに地域の皆さんがかなり多く、今回も大盛況でした。それでは当日の様子をどうぞ！



まずは1年生バンド「Mr. はっぴ」です。1年生で1番出演経験が多く、着実に力を付けています。

客席は満員御礼！もっと後ろまで人・人・人！！



山口百恵の「さよならの向う側」をしつとりと、チェッカーズの「ギザギザハートの子守唄」を軽快に歌い上げました。演奏面は上達してきたので、次は「ステージ映え」を意識して欲しいです。



2バンド目は2年生バンド「ゴールデンマイクロフォン」です。このバンド名はたぶん、英真で使っているメインボーカルのマイクが金色のものを使用しているからだと思いますが、なぜその名前にしたのかはナゾです。(そもそも、なぜ金色のマイクを購入したかもナゾです笑)

楽曲は ZIGGY の「GLORIA」を熱唱し、イルカの「なごり雪」を情感たっぷりに歌い上げました。前と後のギャップがすごいです。ギャップ萌えてヤツですかね。しかし、ここもまだまだステージングが大人しいので、身体全体を使って表現してほしいです。

ただ、昭和の楽曲は楽譜がないものも多く、自分で曲を聴きながらコピーしていくしかないため、慣れないうちは非常に大変な作業になります。今回出演したバンドはそれを乗り越え、立派に演奏することができたので褒めてあげたいですね。また夏に NESSO があるので、そこに活かしていきましょう。



お疲れ様でした!!!